

事業実施状況

1. 「地域福祉サポーターセンター」の運営

「地域福祉サポーター」の育成と支援

地域福祉サポーター連絡会を毎月開催しスキルアップを図るために 14 地域の情報交換はじめ講師を招いて研修会を実施。 令和3年4月から令和4年1月末日 7回

研修会のテーマについては、区社協として業務遂行上必要なものと、サポーター対象にアンケートを実施し、サポーター業務に反映させるように努めた。

特に、コロナ禍での情報収集・伝達に困難があったため年度後半となったがLINE講座を実施し、グループ化のうえ情報共有のツールとして提供した。

今年度も前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大の観点から5月・6月・8月は中止。

また、コロナ禍に伴い小地域福祉活動の実施状況についてサポーター間の情報共有を密にする必要があり、開催毎に地域活動開催状況を発表する時間を設けた。

・地域福祉サポーター連絡会 開催状況

- 4月 活動記録(日誌)の記入方法について、活動開催状況について
(地域福祉サポーター14名出席)
- 5月 緊急事態宣言下の為開催中止
- 6月 緊急事態宣言下の為開催中止
- 7月 区内の障がい者支援の状況についての研修会(地域福祉サポーター14名出席)
- 8月 緊急事態宣言下の為開催中止
- 9月 生きがい助けあいサミット in 神奈川オンライン研修を開催し分科会18に出席
テーマ「認知症の人が地域の人々と共に生きる地域をどうつくるか」について学習
(地域福祉サポーター14名出席)
- 10月 虐待防止レクチャー、生活困窮者自立支援事業について
(地域福祉サポーター13名出席)
- 11月 オレンジチームの役割りについて(地域福祉サポーター12名出席)
- 12月 スマホ学習会(地域福祉サポーター11名出席)
- 1月 健康生活支援講習③事故防止・急病対応コース(地域福祉サポーター12名出席)
- 2月 地域福祉サポーターと区社協事業の連携(予定)
- 3月 ①生活支援体制整備事業協議体 ②サポーター連絡会(予定)

※上記内容の研修とともに、必要に応じて情報提供、情報交換を実施した。

※別冊資料 1 参照

広報活動の充実

地域住民や支援が必要な方等に対して、より身近な相談窓口となるよう情報発信を行った。

- ・区社協だより、ホームページに身近な相談先として周知
- ・区役所の配付する区外からの転入者向けの資料に、周知チラシを同封
- ・地域福祉会館等にポスターを掲示

区役所は「広報 東住吉区なでしこ」により地域相談窓口の掲載などについて周知を行った。

※別冊資料 2～4 参照

地域住民のニーズ及び地域福祉課題の把握

・アンケートの実施 1 回目 「地域福祉サポーターによる支援の効果について」

事業利用者向けアンケートでの回答では、190 件中 165 件（87%）が地域福祉サポーターが普段の生活や地域福祉活動の推進に役立っていると回答いただき、一定の評価を頂いた。

一方、記述項目で、活動の周知や活動の認知度不足についてのご指摘を、152 件中 21 件頂いており、引き続き地域福祉サポーターの活動内容の周知、認知度アップを図っていく事は課題となっている。

現在の周知先以外にも、ケアマネジャーの会議等、福祉サービス事業者・福祉関係者への一層の周知が必要。

※別冊資料 5 参照

2. 「地域相談窓口」の運営

地域相談窓口の運営

区内 14 地域に各 1 名ずつ地域福祉サポーターを設置し地域のお困りごと相談や情報共有による他関係機関への速やかな連携を行った。 令和 3 年 4 月～令和 4 年 1 月末時点 26,183 件

内 訳

高齢者等の日常生活における相談対応

- ・個別相談に対しての情報提供及び地域住民への情報発信 13,342 件

専門機関、関係機関との連絡調整

- ・援助が必要な住民を適切に専門機関、関係機関へつなぐための連絡調整 12,763 件
- ・複合的な課題を抱えた人を相談支援機関につなぐための連絡調整
（「地域ケア会議」等への参画） 78 件

※別冊資料 6 参照

3. 区・区社協との連携

各地域への事業説明やサポーター連絡会（研修会を含む）等の事業推進にあたっては、区役所・区社協が協働しすすめる。

「区との連携」

令和3年度「地域相談窓口業務」について地域福祉サポーターとの意見交換会を実施。

区役所担当者と区社協担当者が訪問し、地域の実情について聞き取りを行った

《地域名》 サポーター名	日時	地域の出席者	主な確認事項 【令和3年度のサポーター業務について】
《育和》 上阪 美穂	2021/7/29(木) 10:00～	上阪サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有
《桑津》 筏谷 勝義	2021/8/3(火) 10:00～	A会長 筏谷サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有
《北田辺》 芝 真澄	2021/8/6(金) 15:00～	芝サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有
《今川》 藪本 美由起	2021/7/29(木) 15:00～	A会長 B部長 藪本サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有
《田辺》 小畑 正美	2021/8/12(木) 10:00～	A会長 小畑サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有
《南田辺》 和田 幸	2021/7/26(月) 13:30～	和田サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 カ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍においての地域の変化についての情報共有

《東田辺》 松下 美佳子	2021/8/12(木) 13:30～	松下サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《南百済》 大東 美津子	2021/8/4(水) 15:00～	A会長 B会長 C会長 大東サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《湯里》 藤井 雅代	2021/8/10(火) 10:00～	藤井サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《鷹合》 本田 美保子	2021/7/29(木) 13:30～	本田サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《矢田北》 村嶋 礼子	2021/8/4(水) 10:00～	A会長 村嶋サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《矢田東》 青野 清美	2021/8/4(水) 13:30～	青野サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《矢田中》 佐藤 典子	2021/7/26(月) 15:00～	A会長 佐藤サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有
《矢田西》 阪口 奈生	2021/7/26(月) 15:00～	阪口サポーター	* 東住吉区地域福祉 3 ヶ年計画(2021～2023)の説明 * 地域福祉サポーター月報記入例についての説明 * コロナ禍における地域の状況変化についての情報共有

「区社協との連携」

- ・「閉じこもり予防・見守り支援事業」に区社協と協働し、閉じこもりがちな高齢者の支援に取り組んだ。

対象	日程	内容	配布数
高齢者	令和3年6月下旬～7月上旬にかけて全地域に配布	・ 個包装不織布マスク ・ 運動・脳トレ及び熱中症予防等啓発チラシ ・ セタの短冊(希望地域のみ)	3,560

地域活動や見守り訪問時に活用し、地域での見守り対象者、友愛訪問委員会等のボランティアさんにも喜んで頂けた。

セタの時候でもあり、同封した短冊を記入のうえ持参いただくことで、閉じこもりがちな自宅からの外出の促しとした。

特に、マスクの配給については、昨年度に続きまだ入手が難しい時期でもあったため、本当に有難かったとの声を頂いた。

※別冊資料 7 参照

・専門学校生の取り組む「シトラスリボンプロジェクト」と北田辺地域の見守り訪問活動

中央ＩＴビジネス専門学校（北田辺地域）と区社協で取り組む「シトラスリボンプロジェクト」で、シトラスリボン400個を作成した。作成したリボンは、北田辺地域の友愛訪問委員会と学生により実施した同行訪問の際に活用した。

※別冊資料 8 参照

・「ワクチン接種にかかるＱＡファイル」の作成と配布

地域福祉サポーターが地域住民からワクチン接種についての質問を多く聞くとの声が複数あり、市内の接種に関する情報をファイル化し配布することで、サポーター業務の支援を行った。

※別冊資料 9 参照

4. 見守り相談室との連携

- ・見守り相談室と連絡調整を行い、地域における緩やかな見守り活動を推進した。 461 件

- ・地域福祉サポーターが名簿の整理に費やした時間 399 時間(14 地域合計)

地域住民からの「気になる人がいる」「最近様子がおかしい」といった情報は見守り相談室に提供すると同時に、地域役員等からの聞き取りを行うことで状況把握に努めている。見守り相談室と同行訪問し状況確認したうえで必要なサービスにつなげるための支援を行ったり、地域での見守り活動につなげることも多い。

また、ケース内容によってはケア会議に参加し、関係機関とともに要援護者とのかかわりや支援方針を検討し、支援の役割分担を行っている。

見守り相談室が地域団体に提供している「要援護者名簿」について、更新作業を進めるための地域との調整や、情報収集したあらたな名簿対象者の追加等、定期的に情報共有を行っている。

※別冊資料 10 参照

5. 生活支援コーディネーターとの連携

- ・生活支援コーディネーターと連携し、地域資源を把握し情報提供を行うなど、資料作成・ネットワーク化等を支援。 1,122 件

- ・今年度から2層コーディネーターを配置し、第1層・2層協議体等、区全体及び包括圏域ごとの会議へ参加した。 65 件

- ・昨年に続くコロナ禍により多くの小地域福祉活動が中止となる中、ふれあい喫茶や食事サービス等、高齢者の集う「居場所」の活動状況が都度変わるため、生活支援コーディネーターと区社協、地域福祉サポーターが情報収集し、シート「コロナウイルス感染拡大防止による地域活動開催状況」を作成し、地域福祉サポーターを通じて地域に提供し、各地域の情報共有に繋げた。 4 月～1 月 計 23 回作成

- ・生活支援コーディネーターの支援を受け、地域の居場所の再開支援に取り組んだ。
具体的には食事サービス委員会や見守り活動団体と連携し、会場の換気や動線確保・消毒等の感染対策を行い支援した。新たな担い手については、生活支援コーディネーターが包括支援センターやランチと連携し、新たな居場所づくりに取り組む際、参加者が活動の主体となるよう協議し支援した。

※別冊資料 11 参照

総 評

地域福祉サポート事業は、区社協の受託する「見守り相談室」「生活支援コーディネーター」との効果的な連携強化が求められている。「見守り活動」、「居場所づくり」、「社会資源の確保」「制度の間に対する支援」等、今の地域福祉をとりまく課題について、地域福祉サポーターとともに地域ぐるみで解決していくことが望まれる。

しかし、令和3年度においても度重なる緊急事態宣言の発令により、多くの事業が停滞せざるを得ない厳しい現実があった。

地域相談窓口の運営業務においては、コロナの影響による相談が多く寄せられた。また、高齢者の外出自粛によるフレイル問題も深刻化する1年となった。

区社協の地域福祉サポート事業においても、「地域での繋がりを絶やさない」ための新たな取り組みが課題となった。制限された状況であったが、出来る限りサポーター連絡会を開催し、地域の情報収集とサポーターへの情報発信に努めた。

「見守り相談室」との連携では業務全般を理解するとともに、ケースとしては少ないものの、地域で発生する個別課題について連携し解決に向けて取り組んだ。

「生活支援コーディネーター」との連携では、コロナウイルス感染拡大防止のために停滞気味な地域福祉活動に対しての再開支援と新たな居場所開拓に連携して取り組んだ。

地域福祉サポーターが全ての地域住民にとって「身近な相談窓口」であり、福祉専門職や行政をつなぐ役割を果たせるよう、区社協として支援していく。